



このお便りは、「キャリア教育」と「キャリア教育に関すること」について理解を深めるために作成しています。Q&A方式でお送りします。

## 勉強って、何ですか？



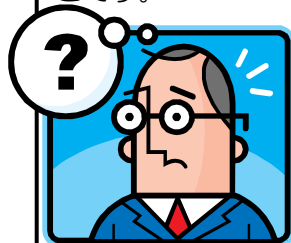
瀬戸内寂聴 1922年徳島県生まれ。作家。1973年に平泉で得度受戒（仏門に入ること）する。

大変難しい質問ですね^^; その質問に対する回答として興味深い本を紹介します。その本のタイトルは、ずばり「**子どもはなぜ勉強しなくちゃいけないの？**」です。この本では、8人の著名人が子ども向けの文章、大人向けの文章で「なぜ勉強しなくちゃいけないの？」という質問に答えています。今回は、その内の一人、瀬戸内寂聴さんによる回答の一部を紹介します。

勉強は食事と同じですよ。人間は食事をして体に栄養を摂りこんで、成長しますよね。勉強とは、知識を取り込んで頭や心を成長させることです。勉強とは、いわば「心の栄養」を摂ることです。食べるものをしっかり食べていれば体は大きくなりますが、勉強をしていないと中身のないでそこないの人間になってしまいます。あなたのお父さんもお母さんも、きっと子どものころにしっかり勉強したから立派な大人になれたのです。食べ物が足りないと、体はガリガリにやせこけて、何かをしたくても体力が続かず、すぐにケガをしたり、病気をしたりしてしまいますよね。それでは満足な人生を送ることができません。食べ物の足りない国の子どもたちがそういう姿になって苦しんでいるのをテレビなどで見たことがあるでしょう。あれを「栄養失調」と呼びます。



では「心の栄養」が足りないとどうなるかわかりますか？「心の栄養失調」とは次のような状態です。まず想像力がなくなります。想像力がなければ、将来の夢を思い浮かべることもできません。将来の夢を思いうかべることができなければ、がんばろうという気持ちもわいてきません。想像力がないと、どういときに自分はうれしいと感じるのか、悲しいと感じるのか、自分の気持ちもわからなくなります。想像力がないというのは、どんなことをしたら友達が喜びのか、傷つくのかわからないということです。何が正しいことで何が悪いことなのかの判断もできなくなります。正しいことと悪いことの区別がつかみませんから、正しいことのために戦うということもできません。正しいことをする喜びがわかりませんから、本当の幸福を感じることもできません。それどころか、自分が幸せなのか不幸なのかすら判断がつかないということです。



もっと悪いことに、ろくに勉強もせず、心の栄養失調のまま大きくなってしまった人は、自分が心の栄養失調であることに気付くことすらできません。こうなってしまったらおしまいです。こういう人のことを本当のバカというのです。だから子どものうちにしっかり勉強して「心の栄養」をたっぷり取っておきましょう。

「子どもはなぜ勉強しなくちゃいけないの？おたとしまさ 日経 Kids+」より引用しました。

いかがでしたか？文章はまだ続きます。この他にも、「人生とは経験値をためるゲームのようなもの」「勉強をするのは生きていくためだが、お金のためだけじゃない」など、いろいろな興味深い回答もあります。

「なぜ学校で勉強するのか？」という質問の答えは一つではないと思います。自分なりの答えを用意し、主体的に学習に取り組むことで効率が上がると思いますよ。

